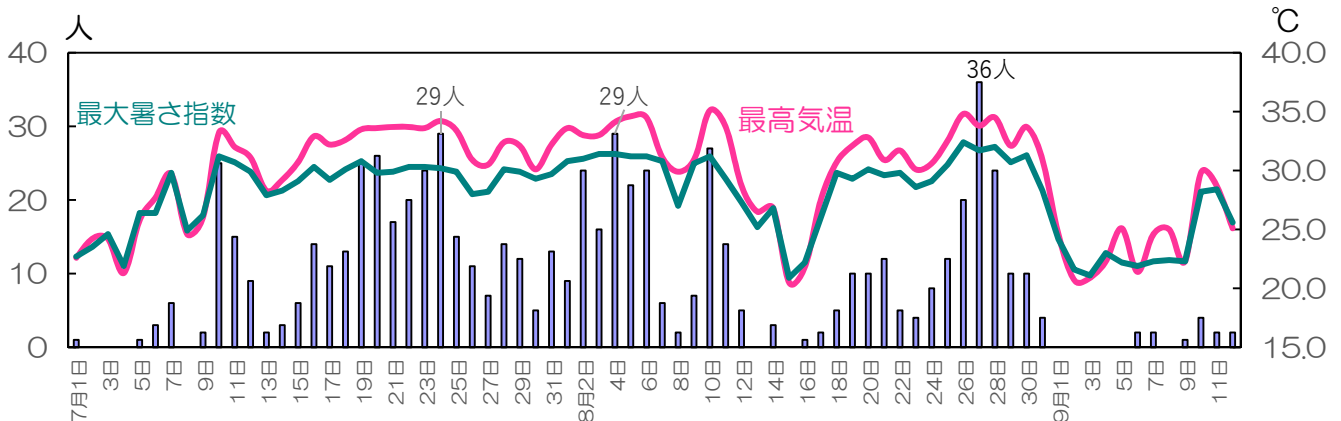


熱中症情報

<搬送数>

令和3年5月1日～9月12日までの搬送数（消防局データを使用）は、計764人（5月19人、6月42人、7月329人、8月361人、9月13人）でした。8/25～30は、最高気温が32℃以上で、搬送数も10人以上（8/27は36人）でしたが、9月に入り、気温が下がり肌寒い日が続き、搬送数は減少しています。涼しくなり、夏の疲れが出る頃です。体調管理に気をつけましょう。

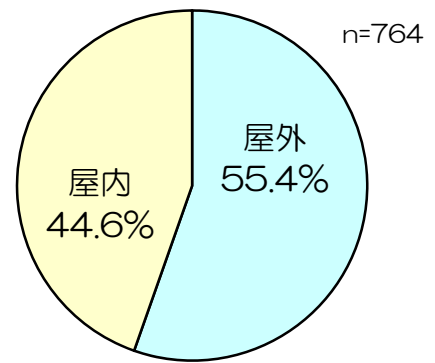
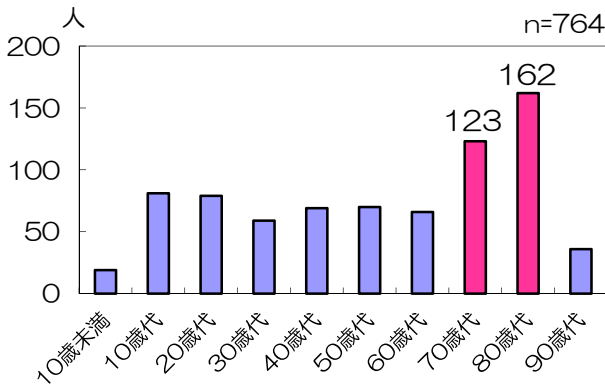
まだ、気温が高い日があると思われるので、新型コロナウイルス感染拡大の防止とともに、熱中症予防（こまめに水分を取り、室温を適切に調節）にも心掛けましょう。



暑さ指数とは？ 人間の熱バランスに影響の大きい①湿度 ②日射・輻射(ふくしゃ)など周辺の熱環境 ③気温の3つを取り入れた温度の指標 詳細は「環境省熱中症予防情報サイト [暑さ指数\(WBGT\)とは？](#)」をご覧ください。

以下のグラフのデータは、5月1日からの累積搬送数です。

<年齢別> 80歳代が162人（21.2%）で最も多く、**<発生場所>** 屋外55.4%、屋内44.6%で、屋外での発生が多くなっています。



<重症度> 軽症59.2%、中等症36.6%、重症3.0%、重篤1.2%でした。高齢者（65歳以上）の中等症以上の割合が58.1%と、高くなっており、高齢者に重症化する傾向がみられます。

